

あなたも、わたしも、知らないあの人も、誰かにとっての「おとなりさん」
そんなおとなりさんと、成蹊大学生による、何気ない日常的一幕



成蹊大学文学部芸術文化行政コース第3期生成果発表会

おとなりさんと、

映像が紡ぐ多文化共生のかたち

2024年7月6日(土) - 7日(日)

11:00 ~ 19:00

展示会場：吉祥寺美術館 市民ギャラリー

東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目8番16号 FFビル(コピス吉祥寺A館)7階

○駐車場・駐輪場なし(近隣に有り・美術館での割引なし)

○バリアフリー対策あり(エレベーター前フラット、だれでもトイレ、車いすの貸し出し等)

○飲食不可・生花持ち込み不可

※本展示会の展示物は全て写真・動画撮影を禁止させていただきます。ご了承ください。

入場料：無料

展示関連企画としてトークイベントを開催します！

本プロジェクトにご協力頂いたアーティストや多文化共生、国際文化学の専門家を登壇者に迎え、
本展示会の感想を交えながら、本プロジェクトの武蔵野市における意義をともに考えます。

2024年7月7日(日) 13:00 ~ 14:30

会場：武蔵野公会堂2階第1・第2合同会議室

東京都武蔵野市吉祥寺南町1丁目6番22号

○バリアフリー対応あり

(だれでもトイレ、障害者用駐車場、筆談ボード等)

○エレベーターなし



トークイベント事前予約はこちらのQRコードから！

※定員に達しなかった場合、当日参加も受け付けます。

おとなりさんと、

トークイベント登壇者



楊 淳婷

YANG Chunting / ヤン チュンティン

(多文化共生とアートプロジェクトの専門家)

台湾台北市生まれ。博士(学術)。東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科特任助教。自身の経験から移住や移民、社会とアートの関係性に関心を抱き、現在は国や文化の枠組みにとどまらないインターセクショナルリティに注目している。アートプロジェクト「イミグレーション・ミュージアム・東京」の企画統括(2019年度)、東京芸術劇場によるシアター・コーディネーター養成講座《多文化共生・基礎編》の監修(2021年度)や多文化共生とアートに関するリサーチプログラムの参与観察(2022年度)などに携わった。2024年現在は「国際理解」及び「多文化共生」をテーマとした「成蹊アートプロジェクト2024」のアドバイザー。主な論文は「アートによる多文化の包摂:日本人の外国人住民に対する『寛容な意識づくり』に着目して」(2016『文化政策研究』第10号)など。



友政 麻理子

TOMOMASA Mariko / トモサ マリコ

(美術家・映像作家)

美術家・映像作家。初対面の相手と、親子になる努力をするという約束をして食事をする「お父さんと食事」(2000年～現在)日本、台北、ブルキナファソ)シリーズなど、コミュニケーションの過程をテーマに、映像作品などを国内外で発表。近年は、自主映画活動を通して、まちや人々を繋げる活動「知らない路地の映画祭」(足立区、2015年～現在)や、室内から窓に映像を投影し、まちを映画館にする「窓映画館」を不定期で開催。



川村 陶子

KAWAMURA Yoko / カワムラ ヨウコ

(成蹊大学文学部教授)

成蹊大学文学部国際文化学科教授。専門は国際関係論(国際文化関係、文化外交、文化交流・多文化共生)。(ひと)の視点からみた、文化でみる・文化でつくる、広い意味での国際関係に関心を持つ。ドイツと日本を主なフィールドとして国際文化関係の運営を研究するかたわら、武蔵野市で文化・社会教育・市民活動推進関連の施策や活動にも関わる。日本国際文化学会会長、日本文化政策学会理事。主な著書に「〈文化外交〉の逆説をこえてードイツ対外文化政策の形成」(名古屋大学出版会、2024年)など。



「国際理解」「多文化共生」とは何だろうか?

私たちは「国際理解」や「多文化共生」について学ぶなかで、そうしたことから「日本人/外国人」という二項対立でとらえやすいことに気づきました。

日本に暮らす「ひと」は、国籍や出身に関係なく、一人一人が「市民」であり、「個人」としての存在です。

アートを通してこのことをどのように伝えられるのか、考えながらプロジェクトに取り組んできました。

本企画では、武蔵野市および近隣在住の外国にルーツをもつ方々と一緒に、それぞれの「日常」をテーマにした映像作品を制作、展示し、国や地域を超えた「一人の市民」としての在り方を表現します。

「おとなりさんと、」に込めた想い

「おとなりさんと、」という言葉には「外国人」という括りではなく、皆等しく「市民」としての立場があるという意味が込められています。

国が違うことで、どこか一線を引いて考えてしまいがちですが、「市民」という点では違いはありません。

「日本人」「外国人」といった括りではなく、皆が1人の人間として存在しているという事を、

来場者の方々にも感じていただきたいと考えています。

また、あえて「おとなりさんと」のあとに「、」を使うことで、

おとなりさんと、【私】 おとなりさんと、【あなた】 おとなりさんと、【会う】 おとなりさんと、【話す】 など、

展示会を通して、来場者の方にも「、」の後に続く言葉を想像して楽しんでいただけますと幸いです。

成蹊大学文学部芸術文化行政コース

本コースは成蹊大学文学部が2020年度より開設した学科横断型のコースです。芸術文化活動の実践と芸術文化行政の実務の双方に通じ、官民における芸術文化振興の担い手となる人材を育成することを目標としています。

[Instagram]



[X(旧Twitter)]



成蹊アートプロジェクト

「成蹊アートプロジェクト」は、成蹊大学と武蔵野市行政、市内の市民文化団体やNPO法人等の官民学が連携し、武蔵野市における共生社会の実現を芸術文化の観点からめざすアートプロジェクトです。

2020年度より成蹊大学文学部に新しく設置された芸術文化行政コースの学生が、地域へ歩き、行政職員や市民とコミュニケーションをとりながら、主体的に企画制作を行います。官民学三者間を芸術文化行政コースの学生がつなぎ、成蹊大学がハブとなることによって、行政と市民の縁を芸術文化で結ぶことを目指します。

会場アクセス



展示会場:
吉祥寺美術館 市民ギャラリー

東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目8番16号 FFビル7階

JR京王井の頭線吉祥寺駅中央口(北口)から徒歩約3分
FFビル(コビス吉祥寺A館)7階



トークイベント会場:
武蔵野公会堂 2階 第1・第2合同会議室

東京都武蔵野市吉祥寺南町1丁目6番22

JR吉祥寺駅南口から徒歩2分
井の頭公園に向かう途中にあります